

日本最古の植物化石に係る特設展示開催について

令和6年3月に静岡大学、北海道大学及び熊本大学から報告された、「日本最古の植物化石」に関わる特設展示を実施しますので、お知らせします。

1 概要

大船渡市日頃市町樋口沢周辺の中里層とよばれる化石産地（古生代前期デボン紀 約 4.1-3.9 億年前）から、日本最古となる植物化石（ヒカゲノカズラ類などの孢子化石）が発見されました。

これまで日本最古の植物化石は、岩手県釜石市、福島県、岐阜県、熊本県の後期デボン紀（約 3.8-3.6 億年前）のものと考えられていましたが、今回の発見により約 1000 万年以上遡りました。

国内ではリンボクのような大型植物化石が主に見つかっていましたが、今回は、植物本体ではなく、孢子化石群集の発見です。この孢子化石群集の解析から、当時の日本に原始的な維管束植物（※1）からなる“草原”が広がっていたことが初めてわかりました。

前期デボン紀は、世界的にみて植物が爆発的に多様化した時代だと考えられています。日本を含むアジアでは、この時代の植物に関する調査記録が少なく、本研究の成果は植物の歴史を復元するうえで極めて重要です。

今回の特設展示は、静岡大学の資料提供、及び日本古生物学会の協力のもとで実施されます。

なお、本件の展示は、日本初公開の資料となります。

- 2 主催** 大船渡市立博物館
- 3 協力** 静岡大学、日本古生物学会
- 4 日時** 令和6年5月3日（金）～6月9日（日）
開館時間：午前9時から午後4時30分（最終入館は午後4時）
- 5 場所** 大船渡市立博物館 特別展示室
- 6 内容** 岩石資料、実験済みの試料小瓶、植物化石プレパラート（※2）

※1 維管束植物

シダ植物や現代の植物の大半が属しています。これに当てはまらないものはコケ類やワカメなどの藻類です。

※2 孢子化石の展示方法

孢子化石は、肉眼での観察が難しいため、顕微鏡を用いて映像端末に出力する予定です。その他イラストなどをもとに、最古の植物化石について解説します。